



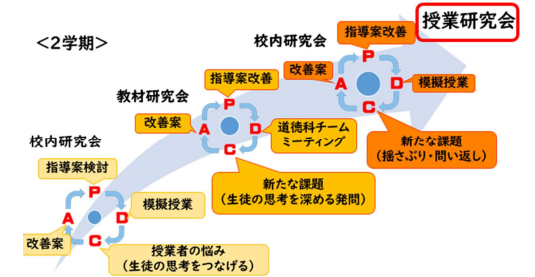
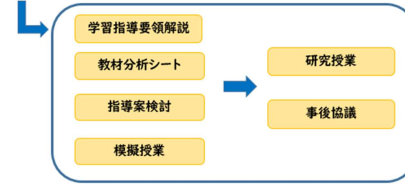
## 道徳科 授業づくり講座 佐賀中学校

### <チーム佐賀中学校の組織的な取組>

佐賀中学校では『中心発問』『価値に迫る問い返し』『生徒の思考をスムーズにつなげる発問構成』を授業づくりの柱に位置づけ、学年ごとで、各学期に道徳の公開授業を設定し、年間を通して授業改善のPDCA サイクルをまわしている。

黒潮町立佐賀中学校で行われた、教材研究会と授業研究会での授業づくりの様子を紹介します。

<1学期:1年団> <2学期:3年団> <3学期:2年団>



第3学年 「風に立つライオン」(廣済堂あかつき) 授業者 宗石 大河 教諭  
【主題名】理想を追い求める 【内容項目】A(4) 希望と勇気、克己と強い意志

高知大学教職大学院  
森 有希 教授



**協議の視点** 思考をスムーズにつなげる発問構成と価値に迫る問い返し

### <道徳科チームミーティング>

ファシリテーターが授業者の悩みや課題をもとに、参加者の質疑応答や意見交換を促進することで協働的に授業研究を行う。

<ファシリテーター森教授より>  
Q.深い思考ができる発問の工夫は?  
A.発問は精選して児童生徒の意見交流や問い返しで考えを深める。

- 自分との関わりで考えられるように  
例)・自分だったら(意思表示)  
・自身が問題だと思えることは?
- 異なる立場や、変容、相違を考えられるように  
例)・違う立場では?  
・前と今の違いは?
- 児童生徒が互いの考えに反応するように  
例)・友だちの意見についてどう思う?  
(同じ、違い、質問、気づき)

**生徒の実態**  
やねなとわいていけ  
現状に満足して  
あきらめがち

**授業者の悩み**  
生徒の思考をスムーズにつなげる  
発問構成の価値に迫る問い返し

**発問の流れ**  
中心発問  
価値に迫る問い返し

**キーワード**  
風

**引き出したい生徒の考え**  
問い返し

**引き出したい生徒の考えを意識**

<授業者の気づき>  
今回の教材では、『しあわせ』と『風』がキーワードとなりました。筆者とあなたで対比的に考えさせることや発問の流れがとても参考になりました。

<授業者の更なる疑問>  
生徒が教師の意図を察すると本心ではない発言が出るのが考えられる。本心を聞くには、問い返しが必要だと思うが、どのように問い返せばいいのだろうか。

<道徳科チームミーティングを受けて>  
\*発問の順序やキーワード、生徒の考えを引き出す問い返しが提案された。

### 参加者の声

- 道徳の授業において事前に指導案検討を授業者と短時間でも行い、困り感や悩みを解決できるチームミーティングを実践してみたい。
- グループで教材研究することの重要性が分かったので、チーム会等を活用しながら、道徳の教材研究を行っていきたく思います。
- 価値項目に迫る考え議論する道徳になるよう、授業を考えていくとともに、チームミーティングを活用して、仲間と共に色々な意見を出し合って、より良い授業にしていきたい。

教材研究会

本時のねらい

「辛くないと言えば嘘になるけどしあわせです」という筆者のしあわせの在り方について考えることを通して、現状に満足したり妥協したりせず理想や目標を追い求めることの大切さに気づき、強い意志と、時に険しい選択をする勇氣をもって人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。

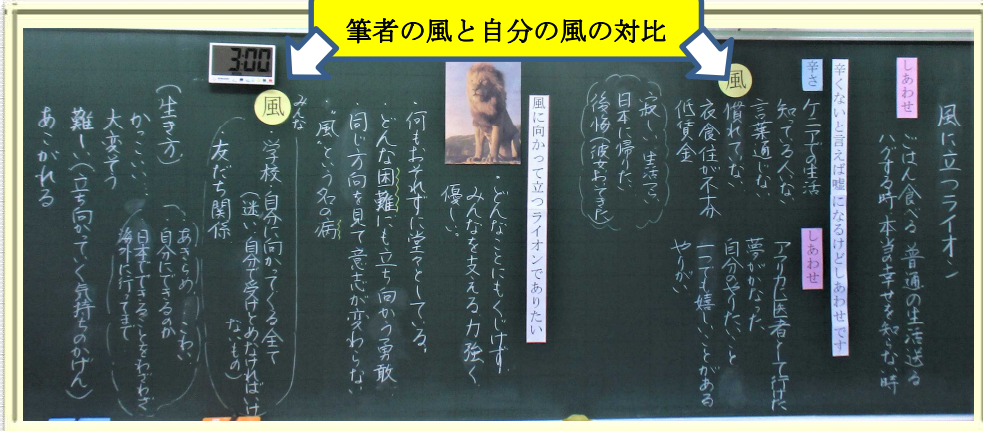
Point

ねらいと生徒の実態を照らし合わせて、授業を通して引き出したい生徒の考え（振り返りの記述）を想定する。

【授業を通して引き出したい生徒の考え】

- ・一人で何かに挑戦したり、その先に辛いことが待っていたりすることがあったとしても、夢を叶えるためには厳しい選択をする強さも大切だと思った。
- ・目標や理想をもっているが、今は辛い思いから諦めてしまうことがある。けれど、辛いことを乗り越えて感じられる幸せもあると分かった。
- ・自分の人生なのだから、自分のやりたいことをやるためにきちんと努力をして後悔しない生き方をしたい。

筆者の風と自分の風の対比



＜中心発問からの実際のやり取り＞

- T：風に向かって立つライオンとは、どんな生き方がノートに書いてください。
- S：どんなことでもくじけずに、みんなを支えられる。
- S：何も恐れずに、どんなことがあっても堂々としている。
- S：どんな困難にも立ち向かう勇氣をもっている。
- S：同じ方向を見ているから意志が変わらないことを表していると思う。
- S：風という病に立ち向かう医者でありたい。
- S：筆者にとっては病が風やと思う。**
- T：OOは、筆者にとっての風は病って言っているけど、みんなは筆者にとっての風は何だと思いますか？**
- S：困難。苦勞。生活に慣れない。自分では完璧にできない部分。
- S：自分のことを苦しめるようなもの。**
- T：みんなにとっての風は何ですか？**

Q.どのような問い返しで価値に迫るといいのだろうか？

○一面的な見方から**多面的・多角的な見方**へと発展させるには、道徳的価値に関わる問題に対する**判断の根拠**やそのときの心情を様々な視点から捉えられるような問い返しを考える。

【問い返し（例）】

- ・困難に立ち向かう生き方は良い生き方なのかな？
- ・上を目指さず平凡に生きていくことはダメな生き方なの？

○道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めていくには、読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージしたり、道徳的価値を**実現することの難しさ**を自分のこととして捉えたりすることができるよう問い返しを考える。

【問い返し（例）】

- ・（このような生き方ができるといいけど）できるかできないか不安や迷いを感じたとき、あなたなら、どのように乗り越えますか？

参加者の声

- ねらいに迫れるよう、より自分事とできる工夫や、**生徒と生徒をつなぐ発問・切り返しの工夫**を、どのようにすればいいのだろうか。
- 考えさせたい要点を教師が明確にもつこと、**逆説的に聞くことで考えの根拠や判断の拠り所を見つめ直すきっかけにすることが大切だと思った。**
- 生徒が議論できる発問を工夫していかなければいけないと思いました。

Point

教師がねらいに迫るために生徒の発言を受けて次につなげ、生徒の思考がスムーズに流れるようにする。

＜生徒の振り返りより＞

- S：困難に立ち向かう生き方に憧れる。
- S：私の風はこれからのこと。精一杯頑張りたい。
- S：どんな困難でも諦めず、テストで100点を取ることよりも継続して取り組むことを頑張りたい。
- S：筆者の生き方は賢くない生き方だと思う。風を受け流していく生き方も大事だと思う。**

Q.みなさんなら、このような振り返りの記述から、価値に迫るためにどう問い返しますか？

【問い返し（例）】

- さんは、風を受け流すって表現したけど、みんなは、風とどう付き合っていく？